

# みちの会だより

## 会長挨拶

明けまして

おめでとうございます

渡邊 順子

会員の皆様、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

元旦の初日の出に今年の幸せを祈る心と合わせて、大晦日の夕陽に一年間の無事を感謝する心も忘れなくお持ちでしたでしょうか。

昨年は、アテネ・オリンピックの日本人選手の活躍が本当に素晴らしかった。初めて日本人選手の参加者は女子が男子を上回ったそうです。自分を信じて努力を惜しまない姿勢が伝わってきて、感動の連続でした。

又、猛暑に加えて、台風・地震などの自然災害が多くありました。これらの天災の猛威に関する報道に接しますと、便利で快適な文明社会生活に慣れてしまっている私達ですが、日頃の備えを怠ってはいけないと痛感しました。

今年は、まもなく中部地方の空の玄関”セントレア”も開港します。皆様の旅の必需品は何でしょうか。ご自身の健康はもとより、ご家庭・周囲の方々のご理解等でしょうか。

重ねて”愛・地球博”も開催されます。この記念すべき大イベントにそれぞれの関わり方がありましょうが、県民の一人として成功を祈るとともに期待しています。

厳寒の砌、ご自愛下さいまして、西年のごとくなお一層飛躍の年でありますようにご活躍をお祈りします。

* 会長あいさつ	表紙
も * 第2回全体研修会 知多5市5町議会議員と語る会	P 2
く * 男女共同参画社会支援セミナー フォローアップ講座	P 3
じ * 第18回知多・名古屋女性フォーラム	P 4.5
じ * 県民参画イベント2004	P 6
じ * 日本女性会議2004まつやま	P 6
* お知らせ	P 7

## 知多 5市5町

### 議会議員と語る会

石黒 節子

7月31日（土）平成5年以降、中断していた5市5町議会議員と語る会が久しぶりに開催されました。

15名の市町議員と39名の会員が参加しそれぞれ混ざり合って4グループに別れテーマに沿って意見交換をした後、各グループが発表するという形式で行われました。

テーマ1：男女共同参画社会を取りまく環境（雇用・育児・介護）

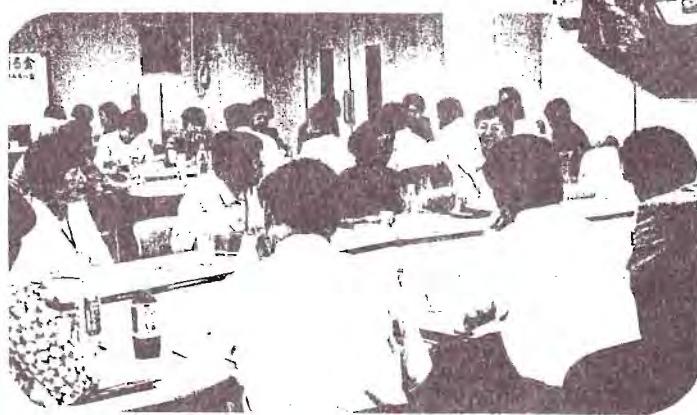
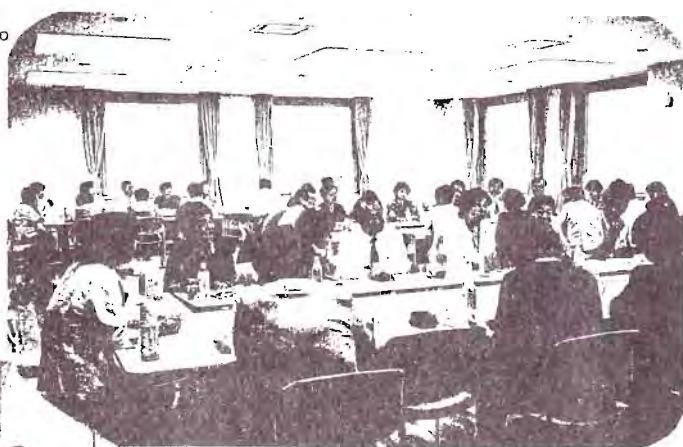
テーマ2：女性の登用率アップへの課題

どのグループでも共通して出ていたのは、出産後の職場復帰や子育てを終えた後の再就職が困難である。また育児休業制度があっても、公務員や大企業以外では取りにくい環境であるという意見であった。少子高齢化社会を迎えるますます推進していかなければならない問題だと思います。

女性が働きやすい環境づくりや、安心して子供を産めるようになり、男女の別なく育児休業が取得できる社会が、一日でも早く来ることが望まれます。

女性も行政に対して働きかけるには、もっと自治法などの法律を学することが必要との指摘もされました。

また、女性の公募に対して自覚も求められていると思います。



私たち市・町民の意見を、政策決定の場に居られる議員さんに伝えていく為にも、このような話し合いの機会を持つことは大切であると思います。

I. 講演会 「DV防止法の改正と積み残された課題」  
講師：弁護士 司見 康則 氏

現在、精神犯罪と共に社会的問題になっているDVについて、弁護士の立場からわかり易く事例をまじえて講演をされた。

講演は、まず「被害者は、なぜ逃げられないのか」で始まり、潜在的心理性を持つもので、発見も更生もかなり困難なものであるとの話であった。

2001年10月にDV防止法が施行されて以来、相談件数は急激に増加し2003年には4万件を上回るまでになった。

現行の改正DV防止法（2004年6月公布）は

- (1)「暴力」の定義の拡大
- (2)保護命令制度の拡充
- (3)市町村による配偶者暴力相談支援センターの設置
- (4)被害者の自立支援の明確化

等、内容も詳細化され保護・支援体制も多岐にわたり充実されたものになっている。

しかし、社会・環境変化の著しい現在に於いて、内容・対応ともにあらたな必要性が生じはじめ、次の3年後の見直し時期に向けての課題として

- (1)親族、支援者の定義拡大
- (2)脅迫行為への拡大
- (3)電話、FAX、メール等による接触の禁止
- (4)保護命令期間の延長
- (5)緊急保護命令の創設
- (6)恋人等のケースへの対応

等が、あげられている

終わりに、この制度が被害者にとって確かな救いとなるように、私たちにもできる被害者支援として

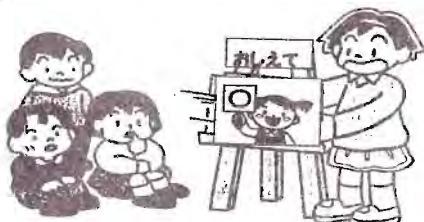
- ・相談相手になること
- ・相談窓口や保護命令などの情報を伝えること
- ・市町村にも窓口の設置を呼びかけること
- ・その他、DV防止の啓発活動等に参加すること

とのメッセージであった。

II. 地域活動事例発表

・東三にじの会：パワーポイントによる「H.16年度ジェンダーチェックのアンケート調査結果」の報告

・地域開発みちの会：権田前会長ほか前役員によるH.16年度テーマ「子どもと共に学ぶ男女平等参画社会」とした活動報告と”紙しばい”を上演



# 地域とともにステップアップ

～ 説め合う個性が輝く参画社会 ～

〈愛知県男女共同参画推進機関〉

今年度はあらゆる場所で多くの決定権を持っている男性にパネリストになっていただき、今、女性が置かれている現実を知り、話しを通してお互いに理解を深めることを目的に企画したものです。

基調講演

演題 「それでいいよと言える関係」

堀田あけみ氏 (作家)

「1980アイコ十六歳」で作家デビュー

パネルディスカッション

〈パネリスト〉

堀田あけみ氏 (作家)

竹内啓二氏 (阿久比町長)

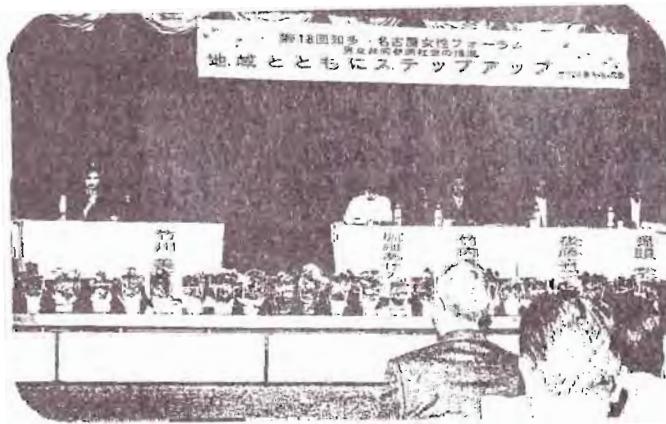
後藤喜晃氏

((株)ミツカンビジテック総務部長)

鬼頭 学氏 (東浦町立緑川小学校)

〈コーディネーター〉

竹川美恵子 (みうの会)



日 時 : 平成16年10月30日 (土)  
13:00~16:00

場 所 : 阿久比町エスペランス丸山



～～参加者から～～

女性フォーラムに参加して

間瀬 良子 半田市

阿久比町のエスペランス丸山、ここは故吉岡繁代さんが、みちの会の会長であった時にもフォーラムを行ったところ、とてもなつかしく思い出される。

さて、始に基調講演があり、堀田氏の「それでいいよ」は心の中にすーと入ってくるような言葉であった。誰でも疲れた時、悲しい時、そして八方ふさがりでどうしようもない時、「だからあんたはあ～」じゃなくて「それでいいよ」と言って欲しい。ありのままの私を受け入れて欲しい。私も自然体が一番気持ちいい。

次にパネルディスカッション。

男性3人違った立場の男女共同参画のお話は、とても興味深く楽しかった。

鬼頭氏の3枚のプレゼント券は私も欲しい、つい羨ましく思った。

後藤氏の企業として育児休業の充実への努力、竹内氏の行政マンとしての心意気をみることができたと思う。

堀田氏の、女はお母さんになれるが、男はお父さんになれない、「お父さんを、育てよう」には大賛成。

私も「夫を育てよう」と定年10年前から少しづつ実行。。。

まあ、少しだけ成功したかな？

来場者も沢山あり、とてもいいフォーラムになったと思う。

○○○○○

○○○○○

○○○○○

みちの会フォーラムに参加して

加藤 晴子 常滑市

「地域とともにステップアップ」をテーマに、フォーラムが行われた。

作家 堀田あけみ氏の基調講演は、子育て中の日々の様子をまじえ、言葉の一つひとつが光っていた。

他人同志が縁あって夫婦になり、相手との違いを実感しながら妥当点を見つけた。

そして、いつのまにかルールができ、"それでいいよ"という関係になっていった。

「いつのまにか」「それでいいよ」の2つのキーワードで、相手（夫でもあり子供も然り）と、認め合える関係がもてる。

新世代の作家で、仕事と家庭をうまく両立している姿は、ゆとりとともに、未来の作風の広がりを十分に感じられた講演で、とても新鮮に感じることができた。

そして、家庭内での役割を分担でなく、その時に合った、その人に向いた担当で行いありのままを認め合うことが、いい関係作りになるのだと言われ、同感した。

続いてパネルディスカッションがおこなわれ、4人それぞれ違った分野で活躍しておられる環境を、男女共同参画の視点で話された。

男性は、表面的に男女共同参画社会にならなくてはとは思っているようだが、本音のところ変えたくないという姿勢がみえかくれしている。しかし、現社会の成年層では確実に変わってきたと実感した。

故に私たち女性が、本当に自分がどうありたいかをしっかり見つめ、問い直し、個性を認め合う社会になるよう一歩でも行動していきたい。

そして、これからの人達が、生き活きと活躍できる社会になるよう力になれたらと思った。



「 ウィルあいち  
県民参画  
イベント  
2004」

11/20(土) - 21(日)

イベント会場から

『 団体としての資質の  
向上をめざして』

加藤 美幸 半田市

「 ウィルあいち県民参画イベント2004」(11月20日、21日)には、男女共同参画への意識を持ち活動するグループによって、43のイベントが開催されました。

地域開発みちの会は11月20日(土)午後セミナールームにて発表した。

私たちは、今年度の初めから2つの活動の成果を、ここで発表する計画をうちたてていました。一つは7月の「5市5町の議員と語る会」、二つめは10月の「知多・名古屋女性フォーラム」で行政・企業・教育の現場の男性とのパネルディスカッションについての活動報告です。

それぞれ多くの意見や質問が飛びかい有意義な時間でしたが、反省すべき点も多々ありました。

しかし、企画・運営に携わって、みちの会の目的である”女性の資質と地位の向上を目指すとともに、社会参加を促進し地域社会の発展に寄与する”というテーマに充分な内容の事業であったと思います。

また、参画イベントのそれぞれに特色をもったグループと見比べてみても、外部とのかかわりに重点をおいた活動は、まさしくみちの会らしさが表れていたと思います。

6月の全体学習会にお招きした県男女共同参画室の伊東美樹代室長の「団体としての力が地域を変えていく」という言葉に後押しされ、この参画イベントも自信をもって活動報告をすることができました。

「いろいろな方向から様々な方法で推めなければ、前に進まない」とも、伊東室長は述べられていましたが、みちの会は、これからも一步進んでは皆で考え、話し合い、足跡を残していく活動を、継続していく様に頑張りましょう。

日本女性会議2004まつやま(10月22日~23日)に参加して

戸田 幸子 東浦町

”集い、語り、ともに拓こう！ 新たな関係”のテーマで開かれました。  
「法律、制度は整備されつつあるが社会の変化は穏やかで、仕事と子育ての両立支援策等、少子化対策にも男女共同参画の視点は欠かせない。女性のチャレンジ支援策など男女共同参画社会施策を推進してゆく」との名取局長からのメッセージでした。

又、シンポジウムに於いては、コーディネーターに樋口恵子さんを迎えて、現状そして10年後の求められている社会について熱く語られました。

翌日は15分科会に分かれ、私は7分科会に参加しました。

三井まり子さんを中心に、政策決定の場での男女平等であることの重要性について意見交換がされました。

午後は、渡辺えり子さんによる”女性と平和”わたしにできることの大切さ”を元気にユーモアたっぷりで、聞いている心が膨らんで帰ってまいりました。

飛行機はプロペラ機で落ちないかとちょっと心配でした。

2005年日本女性会議 開催地：福井県

46. 1月号 メルマガ  
お知らせ

男女共同参画チャレンジ事業  
成果報告会  
日時：平成17年1月14日（金）  
13:30～  
場所：ウイルあいち 3F大会議室  
発表団体：(1)国際交流はなのき会  
(2)NPO 法人ワイン女性企画  
(3)農村輝きネット・南新  
ヨーティネーター  
日本福祉大教授 後藤澄江氏

新年懇親会  
日時：平成17年1月23日（日）  
10:30（受付）11:00～14:00  
場所：アイリス愛知（中区・丸の内）  
会費：5000円  
内容：\*次年度の会長・幹事について  
\*年会費について



### 《冬のエコ情報》

寒い日はコタツでみかんが定番  
皮は捨てないでお掃除に活用を  
みかんの皮は⇒万能クリーナー  
・油汚れの鍋や魚焼グリルは  
洗う前にひと拭き  
・油性ペンの落書き落としも  
皮を煮だした汁は⇒家具や床磨きに  
黒ずみやベトベト汚れが  
スッキリ、ピカピカ  
皮5個分、水1㍑一沸騰後弱火で5分煮る  
(汁は2～3日以内で使うこと)

ホットカーペットでお年玉  
カーペットの下には断熱マット  
を敷きましょう。  
カーペットの上に座布団を敷く  
とカーペットの寿命を短くして  
しまいます。  
更に膝掛けの利用は有効で  
設定温度は〔強〕から〔中〕に  
下げるなど、ひと冬で4,000円の  
おトクになるそうです。

ポッカポカ

### 編集雑記

明けましておめでとうございます  
皆様には、昨年中もお忙しく過ごされたかと思います。また、満足いくように事を  
進められず「心の渇き」を感じた方也有ったかと・・・。  
でも、新たな年が始まりました。多少もの足りなくとも自分なりの方法で、できる  
範囲でひと息いれて、その方が毎日の生活にメリハリができるかと思います。  
気分をかえて、早めに自分を取り戻し、その後のエネルギーを蓄えましょうよ。  
今年はどうぞよろしくお願いします。  
次回は、3月末ごろ発行の予定です。

T/F 0569-48-0610 吉住  
T/F 0569-65-2962 石黒

発行：地域開発みちの会

発行年月日：平成17年1月1日 発行責任者：会長 渡邊順子

編集：みちの会だより34号編集委員（吉住まり子・石黒ひろみ）

問合せ：渡邊順子 ☎470-2212 阿久比町卯坂焼山86 TEL 0569-48-4788